|  |
| --- |
| 許　　可　　申　　請　　書  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　○年　○月　○日  　宮城県北部土木事務所長　殿  　　　　　　　　　　　　　　　申請者　〒　○○○－○○○○  　住　所　○○市○○字○○番  法人の場合は法人名及び代表者職氏名を記入。  押印は不要。  　　　　　　　 氏　名　株式会社○○  代表取締役　○○　○○  T E L　○○○○―○○―○○○○  　別紙のとおり河川法第２５条の許可を申請します。  担当部署，担当者がいる場合に記入。  担　当：○○課　宮城　太郎  T E L ：○○○○―○○―○○○○  メール：○○＠○○.○○.jp |

備考

　１　申請者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。

（乙の３）

始期は最短で採取を開始したい場合は「許可日から」と記入。

工程表と整合をとること。

|  |
| --- |
| （河川の産出物の採取）  　１　河川の名称  所管河川一覧で名称を確認して記入。  　　　一級河川鳴瀬川水系鳴瀬川  採取目的を端的に記入。  　２　採取の目的  公図等により申請場所の地番を確認し，記入。  「水」等で地番がない場合，近接する地番の地先として記入。  　　　骨材の原料にするため  　３　採取の場所及び採取に係る土地の面積  　　　左岸：大崎市古川○○字○○番　地内  　　　右岸：大崎市古川○○字○○番　地先  求積図と整合をとり，小数点第二位まで記入。（小数点第三位を四捨五入。）  　　　１００．００㎡  備考１(1)のとおり産出物の種類ごとに数量を小数点第二位まで記入。（小数点第三位を四捨五入。）  　４　河川の産出物の種類及び数量  　　　砂利　１，０００．００㎥  　５　採取の方法  　　　機械掘り　バックホウ○㎥級○台　掘削深さ○ｍ～○ｍ  備考１(2)のとおり機械掘り，手掘りの別，機械の種類・能力・数・掘削の深さを記入。  　６　採取の期間  　　　　許可日から  　　　　令和○年○月○日まで |

　備考

１　土石の採取にあっては、次のとおりとすること。

　(1)　「河川の産出物の種類及び数量」については、砂、砂利、栗石、玉石その他の土石の種類ごとに、その数量を記載すること。

　(2)　「採取の方法」については、機械堀り又は手掘りの別を記載するとともに、機械掘りにあっては、その機械の種類、能力及び数並びに採取に係る掘さく又は切土の深さを記載すること。

２　「採取の方法」については、採取した河川の産出物の搬出の方法及び経路を付記すること。

３　許可を受けた事項の変更の許可の申請にあっては、変更しない事項についても記載し、かつ、変更する事項については、変更前のものを赤色で併記すること。